

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	県内市町村で横浜市、川崎市に次いで、3番目にホームレスの人が多い自治体として、法、基本方針等に基づき事業を推進する必要があります。	● 高 ○ 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	法、基本方針等を踏まえつつ、それぞれのホームレスの人の状況に応じて、支援すべき内容、支援方法など有効性のある事業を実施します。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	法、基本方針等を踏まえつつ、それぞれのホームレスの人の状況に応じて、支援すべき内容、支援方法などにより事業を実施していることから、妥当性は高いと思われます。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	巡回相談等でそれぞれの状況に即した支援をする必要があるため、効率性の観点からは事業の改善が難しいところです。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 平成22年度に「平塚市ホームレス自立支援施策の取り組み方針」を見直し(各事業の評価)、その後の方針に反映させます。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			巡回相談の開催(月2回)	巡回相談の開催(月2回)	巡回相談の開催(月2回)、全国調査の実施	巡回相談の開催(月2回)、全国調査の実施	巡回相談の開催(月2回)、全国調査の実施	巡回相談の開催(月2回)、全国調査の実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	540	540	690	667	667	667
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	180	195	181	181	181	181
事業費(A)		0	720	735	871	848	848	848
執行率(%)		—	—	—				
内訳	職員(人)	0.00	3.23	3.23	3.27	3.27	3.27	3.27
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費(B)		0	27,103	27,103	27,325	27,325	27,325	27,325
フルコスト(A+B)		0	27,823	27,838	28,196	28,173	28,173	28,173

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
● 現状の規模で継続 ○ 拡大して継続 ○ 縮小して継続 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 終了 ○ 他事業と統合	
<判断理由> 「平塚市ホームレス自立支援施策の取り組み方針」に基づいて、ホームレス巡回相談の実施や関係機関との連携、協力を図りながら、それぞれの状況に即した支援を実施します。	
平成22年度の取組方針	
「平塚市ホームレス自立支援施策の取り組み方針」に基づいて、自立の意思がありながらホームレス状態に置かれている人が、地域社会に復帰し、健康で文化的な生活をおくれるよう自立に向けた支援を推進します。	
課長コメント	「平塚市ホームレス自立支援施策の取り組み方針」に基づいて、関係機関、民間団体等との連携を図りながら、ホームレスの人それぞれの状況に応じた自立支援を実施します。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	①：予定どおり	①：予定どおり
主な取組と成果		「平塚市ホームレス自立支援施策の取り組み方針」を策定した。ホームレス巡回相談を24回（月2回）実施した。ホームレス自立支援推進会議、ホームレス自立支援検討部会、平塚市内のホームレスが起居する施設管理者との情報交換会を各1回、またホームレス支援団体との意見交換会を3回開催した。これにより目標としていた25人の脱ホームレスを実現することができた。	「平塚市ホームレス自立支援施策の取り組み方針」に基づいて、ホームレス巡回相談を24回（月2回）実施しました。また、ホームレス自立支援検討部会、平塚市内のホームレスが起居する施設管理者との情報交換会を各1回、またホームレス支援団体との意見交換会を2回開催しました。これにより目標を上回る31人の脱ホームレスを実現することができました。
検証結果	—	A：成果があがった	B：おおむね成果があがった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		平成22年度に「平塚市ホームレス自立支援施策の取り組み方針」を見直し（各事業の評価）、その後の方針に反映させる。	平成22年度に「平塚市ホームレス自立支援施策の取り組み方針」を見直し（各事業の評価）、その後の方針に反映させます。
事業の方向性	—	現状の規模で継続	現状の規模で継続
取組方針		「平塚市ホームレス自立支援施策の取り組み方針」に基づいて、自立の意思がありながらホームレス状態に置かれている方が、地域社会に復帰し、健康で文化的な生活をおくれるよう自立に向けた支援を推進する。	「平塚市ホームレス自立支援施策の取り組み方針」に基づいて、自立の意思がありながらホームレス状態に置かれている人が、地域社会に復帰し、健康で文化的な生活をおくれるよう自立に向けた支援を推進します。
事業区分	—	実施計画事業	実施計画事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	長年にわたって地元から早期整備を強く望まれ、地元と共に積み上げられてきた事業であり、必要性は高いと思われます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	地域福祉の拠点づくりのため、着実な事業実施が必要であり、有効性は高いと思われます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	市西部地区の地域福祉を推進するため、幼児から高齢者、障がい者などが利用できる福祉会館を整備することから、妥当性は高いと思われます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	実施設計委託等により効率的な事業を推進しています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	
今後に向けた課題の分析 指定管理者制度の導入、施設の利用方法(開館日、一部有料化等)の検討を進めています。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			実施設計、造成工事、公共柵設置工事	特殊基礎工事、建築工事など	建築工事、植栽工事など			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	12,078	40,246	0	0	0
	起債	0	0	176,000	603,000	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	37,875	69,956	208,302	0	0	0
事業費(A)		0	37,875	258,034	851,548	0	0	0
執行率(%)		—	—	—				
内訳	職員(人)	0.00	0.60	0.60	0.80	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費(B)		0	5,035	5,035	6,685	0	0	0
フルコスト(A+B)		0	42,910	263,069	858,233	0	0	0

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input checked="" type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 西部福祉会館整備事業の完了	
平成22年度取組方針	
平成22年4月にオープンし、指定管理者制度による会館の管理運営を行ってまいります。	
課長コメント	福祉会館4館構想の最後の施設整備として、計画どおり遅延のないよう事業に取り組んでまいります。また、施設の管理運営にあたっては、利用者の立場を第一に考え行ってまいります。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	①：予定どおり	①：予定どおり
主な取組と成果		建物の実施設計及び土地の造成工事、公共柵の設置工事を行ったことにより、計画どおり西部福祉会館の整備に向けて準備を進めることができました。	建物の実施設計が完了し、建設説明会等を経て計画どおり西部福祉会館の整備に向けて建築工事に着手しました。
検証結果	—	A：成果があがった	A：成果があがった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		指定管理者制度の導入、施設の利用方法（利用時間、一部有料化）の検討などが課題である。	指定管理者制度の導入、施設の利用方法（開館日、一部有料化等）の検討などを進めています。
事業の方向性	—	現状の規模で継続	終了
取組方針		平成22年度の開館に向け、建築工事を進めるとともに、会館運営の準備を行う。	平成22年4月にオープンし、指定管理者制度による会館の管理運営を行っていきます。
事業区分	—	実施計画事業	—

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	該当者は増加の方向にあり、独居高齢者や身体障がい者の自立支援ニーズは高い。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	独居高齢者や障がい者の方の自立支援は継続して事業を進めてこそ成果があがるものであり、事業継続による有効性は高い。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	対象者は社会的弱者であり、現行体制で対応するため妥当性は高い。	● 高 ○ 中 ○ 低
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	戸別に収集し、安否確認もあることから、効率性を求めることは難しいが、収集方法等の改善に取り組みます。	○ 高 ● 中 ○ 低	
今後に向けた課題の分析		今後、独居高齢者の数は増える方向にあり、事業の拡大を検討する必要があります。		

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			高年齢者・障がい者 のごみの戸別収集	高年齢者・障がい者 のごみの戸別収集	高年齢者・障がい者 のごみの戸別収集	高年齢者・障がい者 のごみの戸別収集	高年齢者・障がい者 のごみの戸別収集	高年齢者・障がい者 のごみの戸別収集
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		—	—	—				
内訳	職員 (人)	0.00	0.48	0.48	0.48	0.48	0.48	0.48
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	4,028	4,028	4,011	4,011	4,011	4,011
フルコスト (A+B)		0	4,028	4,028	4,011	4,011	4,011	4,011

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
● 現状の規模で継続 ○ 拡大して継続 ○ 縮小して継続 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 終了 ○ 他事業と統合	
<判断理由> 現状の収集方法、体制を活用して継続して行きます。	
平成22年度 of 取組方針	
独居高齢者、障がい者からの戸別収集のニーズは増加傾向にあります。収集方法等の改善に取り組みます。	
課長コメント	福祉部門と協働して、充実を図ります。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	①：予定どおり	①：予定どおり
主な取組と成果		独居高齢者、障害者のごみの戸別収集を行い、住み慣れた地域で安心して暮らせる一助となった。	対象者が増加傾向にあるため、事業の拡充に向けた検討を始めました。 登録者60人（H21・3・31）
検証結果	—	A：成果があがった	A：成果があがった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		今後、ますます独居高齢者の数は増える方向にあり、事業の拡大を検討する必要がある。	今後、独居高齢者の数は増える方向にあり、事業の拡大を検討する必要があります。
事業の方向性	—	現状の規模で継続	現状の規模で継続
取組方針		独居高齢者、障害者からの戸別収集のニーズは増加傾向にある。収集方法の改善など更に工夫する。	独居高齢者、障がい者からの戸別収集のニーズは増加傾向にあます。収集方法等の改善に取り組みます。
事業区分	—	実施計画事業	実施計画事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。